根っこ

安心のネットワーク
NOSAIひだ

2019.6.20 VOL.167

さわやかな青空の下で（下呂市小坂町）

備えの種をまこう。

ましょう!!

資料提供・
お問い合わせ

飛騨農林事務所農業普及課
☎〈0577〉33-1111（代）

下呂農林事務所農業普及課
☎〈0576〉52-3111（代）

冷害（障害型）

障害型冷害は出穂前の低温により発生し、被害が大きいと著しい減収となります。低温で花粉の形成が阻害され出穂しても受粉せずモミが実らなくなり、１穂のモミすべてが被害を受けて白穂となることもあります。
障害型冷害は、穂ばらみ期に平均気温 20℃以下の日が数日続いたり、最低気温が 17℃以下になると発生しやすくなります。また、被害の受けやすさは品種によって異なります。

（冷害に弱い）・・・・・・・・・・・・・・・・・（冷害に強い）

たかやまもち ＜ ひだほまれ ＜ コシヒカリ ひとめぼれ あきたこまち ＜ はなの舞い

【冷害を受けた穂】

冷害（障害型）対策のポイント

- 被害を受けやすいところでは、障害型冷害に弱い品種の作付けを避けましょう。
- 気温の低い日は気温よりも水田の水温が高いことが多いので、異常低温が予想される時には深水にし、稲の株元にある幼穂を低温から保護します。
- 出穂前3週間程の幼穂長が数ミリとなった時から深水管理を行うことがより効果的です。幼穂形成時の深水で葯(やく)を大きくし花粉の数を多くすることで、その後の低温で多少障害を受けても、正常な花粉を十分に残すことができます。
- 被害を軽減するためには、堆肥や土づくり肥料などを使用して活力の高い稲づくりを常に心がけることが大事です。

紋枯病

紋枯病は、高温多湿条件となる７～８月に発生し、近年、飛騨地域でも発生が増加しています。
紋枯病は、前年、水田に落下した紋枯病の菌核（菌糸のかたまり）が水に浮いてイネの茎に接することで感染します。病斑は小判形の淡褐色で、葉鞘（葉の部分がさや状になり茎を包む部分）を下から上へ次第に上がっていき、多発すると倒伏の原因となります。また、止め葉まで発病するとモミに実が入らなくなり、大幅な減収となります。

【葉鞘と葉に発生した紋枯病（甚発生）】

紋枯病対策のポイント

- 上位葉まで進行すると収量に大きく影響するため、出穂10～20日前に防除を実施すると効果的です。
- 出穂期以降、高温多雨で経過し、上位葉へ進行が認められる場合は、追加防除を行いましょう。
- 昨年発生したほ場では、防除を行いましょう。（田植時に施用する「箱粒剤」でも防除が可能です。）

水稲の障害発生を防止し

倒伏及び穂発芽

倒伏の発生は、収穫や乾燥調整の作業効率を著しく低下させたり、機械の故障や損耗の原因となります。発生の時期によっては、水稲の登熟を阻害して収量や品質、食味の低下を招いたり、穂発芽の増加につながることもあります。
穂発芽は、登熟期後半から収穫期の長雨と高温によって収穫前にもかかわらず発芽することですが、倒伏によって水がついた状態になると、どの品種も発芽してしまいます。
一般に草丈が長く重心の高いイネ、稈（わら）が細く弱いイネほど倒れやすく、穂発芽は、収穫の遅れによって助長されますが品種によって発生のしやすさは異なります。

【倒伏したほ場】

（倒れやすい）・・・・・・・・・・・・・・・・・（倒れにくい）

コシヒカリ ＜ ひとめぼれ ＜ あきたこまち ひだほまれ はなの舞い ＜ たかやまもち

（穂発芽しやすい）・・・・・・・・・・・・・（穂発芽しにくい）

たかやまもち ひだほまれ ＜ あきたこまち ＜ コシヒカリ ひとめぼれ はなの舞い

【品種による穂発芽のしやすさ】

倒伏及び穂発芽対策のポイント

- 窒素肥料のやりすぎは、稈（わら）が弱くなるとともに、草丈が伸びて倒れやすくなります。倒伏の発生しやすいほ場では、施肥量を減らしましょう。
- 穂肥を行う場合は、生育を見ながら適期に適量を施用しましょう。葉色が濃い場合や過繁茂の場合には、穂肥の施用量を減らし、必要に応じて施用時期も遅らせましょう。
- けい酸加理を施用することで、稲体が丈夫になり、倒れにくい稲になります。
- 有効茎数が確保できたところで中干しを行うことで、過繁茂を防ぐとともに根張りを良くし、倒伏の発生防止につながります。
- 密植や太植えは、稈（わら）が細く倒れやすくなるので避け、紋枯病の発生は倒伏の発生を助長するので、しっかりと防除をしましょう。
- 草丈が高く倒伏が懸念されるなどやむを得ない場合には、倒伏軽減剤を使用しましょう。
- 野生動物の侵入により倒伏する場合もありますので、防護柵の設置をすすめましょう。
- 穂発芽の発生は、気温と雨の日数等からある程度予測することが可能なので、発生が予想される場合には、早めに収穫を行いましょう。ほ場を考慮して計画的な収穫作業を心がけることが大切です。

病害虫防除の薬剤については、稲作情報誌「飛騨のこめ」やＪＡひだ「営農の手引き」を参照してください。
農薬を散布する時は、住宅や他の作物、家畜、養蜂に配慮して危害防止に努めましょう。

水稲共済加入者の皆さまへお願い

水稲共済掛金の振替は7月5日です

水稲共済掛金の口座引落しを7月5日（金）に行います。指定口座のご確認をお願いします。

また、昨年まで無事戻金をお支払いしていましたが、本年度より危険段階別掛金料率が導入されたことにより廃止しました。

【注意事項】

以下のような場合は手続きが必要となりますので、速やかにNOSAIひだまでご連絡ください。

①経営移譲や死亡などの理由により、加入者名義や金融機関の口座情報を変更される場合

②加入申込書の内容に変更があった場合

果樹共済

全ての災害に対応!『総合一般方式』

申し込み受付期間▶6月30日～7月15日

近年、晩霜や局地的なひょうが発生するなど、不安定な気象が続いています。
また、台風の襲来や、天候不順による病気などの発生も心配されます。
りんご・ももの被害に対する経営安定の備えとして、果樹共済の加入をおすすめします。

加入資格

類区分（早生、中生、晩生）ごとの栽培面積が５アール以上で、りんご５年以上、もも３年以上の樹齢の樹が対象です。

対象となる災害

風水害、ひょう害、凍霜害、雪害など気象上の原因による災害や病虫害、鳥獣害、火災など全ての災害が対象です。

加入方式の選択

半相殺方式、または樹園地方式のいずれかを選択できます。（下表参照）　なお、いずれの方式も全園地の加入が必要となります。

補償期間

花芽の形成期（今年の７月頃）から来年の収穫期までの約１年半の期間。
（令和２年産の収穫に対しての加入となります）

加入方式	補償内容	支払対象となる被害割合
半相殺方式	すべての災害による果実の減収を農家単位で補償	類区分ごとに３割を超えた部分に係る被害
樹園地方式	すべての災害による果実の減収を園地ごとに補償	類区分ごとに４割を超えた部分に係る被害

ご注意ください　果樹共済のうち、「特定危険方式」（３月申込）は2021（令和３）年産までで廃止されますが、「総合一般方式」は存続します。「収入保険制度」とも比較検討いただき、今後もご活用くださいますようお願いします。

各種共済のお問い合わせ・お申し込みは
NOSAIひだ事業課　TEL（0577）35-0310まで

農業共済新聞

営農と暮らしに役立つ情報をお届けします。

農業共済新聞

週刊だからゆっくりムリなく読める！

毎週水曜日発行

●年間購読料 4,680円（税込）

購読に関するお問い合わせ・申し込みは
NOSAIひだ　総務課まで

TEL（0577）35－0310
FAX（0577）35－0388
E-mail：nosai@bronze.ocn.ne.jp

平成30年度家畜共済一般損害防止事業

2種類のワクチン接種に対する助成金400万円を支払い

●牛下痢5種混合ワクチン
●牛クロストリジウム感染症5種混合ワクチン

平成30年度に上記２種類のワクチンを接種した農家143戸に対し、5月21日に助成金をお支払いしました。助成額はワクチン費用の3分の1以内としており、平成３０年度は、牛下痢５種混合ワクチンは3,038頭、牛クロストリジウム感染症５種混合ワクチンは4,298頭が対象となりました。

今年度もこの２種類のワクチンに対する助成を実施しますので、引き続き予防接種を行なってください。

主治医と相談の上、病気の未然予防にワクチンを有効活用してください。

備えは大丈夫ですか？

火災及び雷や台風、いつ起きるかわからない地震等による被害に対し、あなたの大切な財産の備えは大丈夫ですか?

安い掛金で大きな補償の**“NOSAI 建物共済”**には、火災共済と総合共済があります。

火災共済は、火災・落雷・爆発・建物外部からの物体の落下や衝突等の損害に対する補償ですが、総合共済は火災共済の補償内容に加え、台風等による風水害、土砂崩れ、地震、雪害等の自然災害による損害が補償の対象となります。

落雷によりボイラーやエアコン・ウォシュレット等が損傷した場合は、建物の一部として“火災共済”、“総合共済”共に補償の対象となりますが、テレビ・冷蔵庫等の電化製品については、家具類に加入していただければ補償の対象となります。

詳しくは下記までお問い合わせください。

※農家の強い味方が“NOSAI 建物共済”です！
農業保険法に基づいて運営されていますので安心です。

心配だからすぐに加入しよう！

安い掛金 大きな補償

安心のネットワーク NOSAI

NOSAI 建物・農機具共済推進協議会
飛騨支部
〒506-0052　岐阜県高山市下岡本町２１１５番地
TEL<0577>35-0853　FAX<0577>35-0388

平成30年度　情報公開の実施状況

飛騨農業共済事務組合情報公開条例及び個人情報保護条例の規定に基づく情報公開の実施状況について、情報公開の請求、個人情報の開示請求及び審査請求はいずれも該当ありませんでした。個人情報取扱事務の届出は5件でした。

私の収入保険加入物語（ストーリー）

第一回 木下明大さん

今年から収入保険に加入した木下さんに、加入申請までのエピソードを聞きました。

木下明大（きのしたあきひろ）さん。国府町在住、35歳。上宝町の農家で研修を受け2012年に就農。トマト50a、ズッキーニ60a、スナップエンドウ他8aを栽培。農作業は木下さん夫婦とパート3人。

収入保険を知ったきっかけは？

「昨年の10月頃あった収入保険の説明会です。その時の説明では、過去の収入を単純に平均して基準の収入を決めるだけなら、正直なところ自分にはあまり必要ではないかな…という印象でした。」

職員の訪問で、収入保険の印象は変わりましたか？

「補償額の見積もりを見て、意外と収入が高く設定されているな、と思いました。この設定なら、収入が1割減って支払いになることもありえるのかなと」

収入上昇特例が使えたからですね。過去の収入が上昇傾向にある方は、単純な平均ではなく収入の伸び率を反映した補償額を設定できます。

「収入が上がっているのは費用をかけて面積拡大しているからなので、そういう経営努力を踏まえた収入設定をしてくれることはありがたいですね。」

その他、メリットを感じている点はありますか。

「新しい作物に挑戦するときに補償がつくところです。ズッキーニやスナップエンドウは作り始めて間もないので栽培がうまくいかない心配があります。そういう作物にも一定の収入が設定されるのがいいですね。

それと、けがや病気で収穫ができない時も補償されること。自分だけでなく、パートさん達も急に働けなくなることは十分あると思うので。」

一方で費用面ですが、保険料や積立金は妥当な金額でしたか？

「決して安い金額ではないですね（苦笑）。ただ、費用の半分以上が掛け捨てではない積立金だということは説明を受けて初めて知りました。2年目の加入からは掛け捨ての保険料だけ払えばいいし、加入をやめることになったら積立金が戻ってくる点も納得感がありました。」

被害があって積立金を取り崩すことになっても、国の補助で積立額以上の金額が戻ってくるなどメリットは大きいと思います。また、掛金等の納入は最大9回まで分割可能ですので、ぜひご活用いただければと思います。

最後に、今後の農業経営の目標などはありますか？

「新しく就農しようとする若い人が増えているので、農業に憧れてもらえるよう、新しい品目や事業拡大に挑戦して実績を上げていきたいと思います。まずはちゃんと稼がないと見本にもならないですから（笑）。」

収入保険はチャレンジする農家さんを応援するための保険でもあるので、ぜひ活用してほしいと思います。本日はありがとうございました。

NOSAIひだのホームページ!!

NOSAI ひだ　検索

農家の皆さまへのお知らせ、事業内容の紹介、情報開示などを掲載しています。情報は随時更新をしていますので、ぜひご覧ください。また、「根っこ」のバックナンバー（平成26年度以降）についてもご覧いただけます。

ホームページアドレス：http://www.nosai-hida.jp/

こだま

～みなさまからのお便りをご紹介します～

●表紙のさくらを見てなごみます。春っていいですね。心がワクワクします。
（飛騨市古川町　千原朱美さん）

●4月から孫が就職し、車の運転をするようになり、どこかへ連れて行ってくれると言うので、うれしい気持ちとドキドキです！
（下呂市萩原町　中島奈緒美さん）

●暖かくなりありがたいのですが、畑を始める前の草むしりであっくりしております。はぁー。
（飛騨市古川町　川上フミさん）

●なかなか立派な野菜はできませんが、自分で育てた野菜での食事は、お腹も気持ちも満足です。
（高山市曙町　大坪朝子さん）

●妻の畑仕事が始まりました。畑の半分が花畑になってしまっていますが、野菜は何を作ってくれるのか…。今年も楽しみに待つ事にしました（笑）
（飛騨市古川町　牛丸政司さん）

●毎日新鮮で安心して食べれる野菜が採れることに感謝です。今年も楽しんで色々な野菜に挑戦したいです。
（高山市上宝町　柴田文江さん）

●初めてハガキを出します。いつもクイズを楽しみにしています。暖かくなって野山は花ざかりになりました。夏野菜を植え付けたりいそがしい毎日が続きます。
（下呂市乗政　熊倉春治さん）

●農家が高齢化になる中、就農されている若い方の記事「がんばってます！」を見て、研究心に感動と逞しさを覚えました。
（飛騨市古川町　横山昇一さん）

●実家が小坂町なので、飛騨小坂あぶらえの事が掲載されていたのでなつかしく五平餅を思い出しました。
（高山市国府町　光本幸子さん）

●令和になり心もなんだかウキウキして来ます。野菜作りも楽しくなって毎日畑に足が向きます。早く大きくなーれ!!
（下呂市蛇之尾　大野文子さん）

右のクロスワードパズルを解き、A～Fを順に並べてできることばを答えてください。

正解者の中から抽選で10名の方に、「納豆喰豚の缶詰セット」をプレゼント!!

A	B	C	D	E	F

◎よこのカギ

①青が特徴の画家。「真珠の耳飾りの少女」が有名。
⑥西洋料理の正式の食事・晩餐。
⑦ヘミングウェイの小説「○○よさらば」。
⑧酒造家で酒を醸造する長。
⑩夏のはじめ。
⑫重要な箇所。「○○○○をおさえる」。
⑮有望な人材を探し出したり、引き抜いたりすること。

◎たてのカギ

①手紙や文章を書くのを面倒がること。
②物事の力や作用が他の物にまで及ぶこと。またその結果。
③古代ローマの月の女神。
④「○○○ル」。長さの基本単位。1秒の2億9979万2458分の1の時間に光が真空中を進む距離。
⑤似かようこと。
⑨家畜共済の対象でもあります。
⑪カクテルのリキュールやジャムなどに使用されている果実。和名：クロスグリ。
⑬自分の自由に使える、あまった時間。
⑭鳥の一種。白いものは手品やセレモニーで活躍。

応募ハガキの書き方

答え○○○○○○
〒住所・氏名
電話番号
ご意見、ご感想など

〒506-0052
高山市下岡本町2115
NOSAIひだ
広報係宛

（横書きでもよいです）

ご応募をお待ちしています！

お寄せいただきましたご意見・ご感想などは、こだまコーナーに掲載させていただくことがあります。

7月31日必着〆切

クロスワードパズル前回の解答

前回の正解は、「シュンミン」でした。
厳正な抽選の上、10名の方へ飛騨小坂あぶらえ生産組合の「えごまオイル」お贈りしました。おめでとうございます。

あとがき

平成も終わりを迎え、5月より元号は令和となりました。

一見、「令」という字は冷たい印象を受けますが、令和には好ましい、美しいといった意味が込められているとのことです。

平成は大きな自然災害が度々起こり、農家の方々にとっても厳しい時代だったことを実感しています。新しい時代からは令和の意味である美しい調和ということで災害の少ない穏やかな時代になることを期待しています。

私は、平成7年生まれですが、平成の時代は社会人になるまでに受験や就職活動など様々な試練があり、当時はとても大きな壁に思えていましたが、それを乗り越えたことで少しは成長しているのかなとしみじみ思います。

令和になってからは、もっと自分を磨くために努力していきます！

（井上）

がんばってます！

高山市国府町
石垣　拓（たく）さん（32）
育恵（いくえ）さん（30）
愛犬のハチくん

高山市丹生川町と国府町で、トマト42アールをハウス栽培している石垣拓さん。

以前は愛知県で働いていましたが、高山に戻ったのをきっかけに生涯現役で働ける農業に興味を持ち、高山市丹生川町の橋場農園で研修を受けつつ2年半働いたのち、2013年に独立しました。

農業は自然相手で毎年状況が違うため、難しさと同時に魅力も感じているという石垣さん。

「一つ一つのハウスの日当たりや水はけによってトマトの状態も変わります。それに応じて手をかけたり工夫したりすることが苦労でもあり、楽しみでもあります」と話します。

生産したトマトはJAに出荷するほか、国府町内の農産物直売所でも販売しています。

「今後は生産量や品質を向上させることが一番の目標。ただ、家族は仕事を別に持っているので作業はパートさんが頼り。現在は一人来てもらっていますがもっと欲しいくらいで、随時募集中です」と笑って話してくれました。

休日は飼っている愛犬のハチくんと遊ぶのが楽しみで、高山市内の公園やドッグランに出かけることも多いとのこと。

今年4月に結婚した石垣さん。妻の育恵さんとの出会いも、ハチくんがきっかけでした。

「トマトを栽培するため農地を借りたところ、地主さんから妻を紹介していただきました。初めて会ったときは妻がハチを散歩させていて、そのことで話が弾んだことを覚えています」とのこと。

「橋場さんをはじめ、たくさんの方のおかげで農業ができています。そのことに感謝しつつ、妻のサポートを受けながら健康の続く限り農業をがんばりたい」と意気込みを話してくれました。

ひだびと自慢の逸品
堀田農産有限会社「納豆喰豚の缶詰シリーズ」

納豆喰豚（なっとくとん）ブランドで知られる、下呂市萩原町の堀田（ほった）農産㈲。代表取締役の堀田秀行さん（70）は、「地元産の豚肉をおいしく提供したい」との想いから、飼育する納豆喰豚のもも肉を調理した缶詰を開発しました。

高タンパクなもも肉は、通常の調理方法では硬くなりがちなためハムやミンチに回ることが多いのが実状です。そんなもも肉を、下呂市内のフレンチレストランRigolo×Rigolo（リゴロリゴロ）のオーナーシェフ監修により、調理方法を工夫することで商品化にこぎつけました。アヒージョやオイル漬けなど、肉が硬くならずおいしさをギュッと閉じ込めた逸品です。

缶詰を選択したのは、日持ちが良く常温で取り扱えること、小口で食品廃棄を抑えられること、災害時にもタンパク源の補給可能な備蓄品にできることを考えたとのことです。また、高山市国府町の乗鞍缶詰工業㈲を紹介してもらい、協力して商品開発を行ったことで、飛騨で育った豚を飛騨人の調理監修により飛騨で缶詰に加工するという、正真正銘オール飛騨の商品が出来上がりました。

現在、地元萩原町の精肉店「天狗」や下呂市内の主だったホテル売店、Aコープ萩原、下呂ショッピングセンターピア、飛騨高山アンテナショップ「まるっとプラザ」などでお買い求めできます。

「今後は、取り扱ってみたい人が出てくれれば販路も拡大したいし、安定的に出荷できるようにしたい。」と堀田さんは話します。

新商品の缶詰シリーズ

※納豆喰豚とは
飼料に納豆粉末を与えることで、胃腸の働きを高めて腸内バランスを整え、健康に育てた豚。病気になりにくいため、病気予防薬の投与もしなくてすみます。
またビタミンEを多く配合した飼料を与えることで、豚肉の酸化を抑制し鮮度が長持ちします。

【お問い合わせ】
堀田農産 有限会社
TEL 0576-55-0508

発行：飛騨農業共済事務組合　高山市下岡本町 2115　TEL (0577)35-0310
印刷：㈲村坂印刷　飛騨市古川町幸栄町 7-30　TEL (0577)73-3330

リサイクル適正 A
この印刷物は、再生紙を使用し印刷物の紙へリサイクルできます。
VEGETABLE OIL INK